

作成: 芝崎

62. 散策篇: レジ袋が有料化になった理由を知っていますか?

- (1) コンビニ、ドラッグストア、100均ショップ等では清算時、必ずと言っていいほど、「レジ袋いりますか?」なんてこんな愚問するのか最近特に思う。
- (2) ある大手スーパーでは、①聞かないか(並んでいる途中に各サイズのレジ袋が取れるように配置し、選ぶやり方)そして、②「マイバックもありますよ」とPRすることもある。
- (3) この矛盾は何だろうかと、レジ袋の有料化になったのはプラごみが海に入りそれがマイクロプラスチックになることで蓄積、その為にプラごみの中のすぐできる「レジ袋の削減」が一つのターゲットになり、有料化して、少しでもマイバックへの活用の拡大を計ろうとしたものだ。大手スーパーでは教育が徹底されているが、他はアルバイトか臨時(パート)かの方が多くあまり教育していないのだろうと推定している。皆が意識改革しないと、海の汚染は止まらない。
- (4) では何故、将来にわたり、海にプラごみが流れ、それが海に蓄積、マイクロプラスチックになり、それをプランクトンが誤食し、それを魚類が食べて、そして人の口に入る可能性がある事を警告。つまり、因果応報か皆が天に吐いた唾は皆の自分の顔にのイメージつながりそうだ...風の強い日、散歩の時、「レジ袋」が舞い上がっているのを見ると、いずれ海に行くのかなとふと未来への不安を感じる。危機感を持って機宜の処置が大事だけど、どうかな?と思う。

因: (因)になる要素を十分に解析/理解すべき

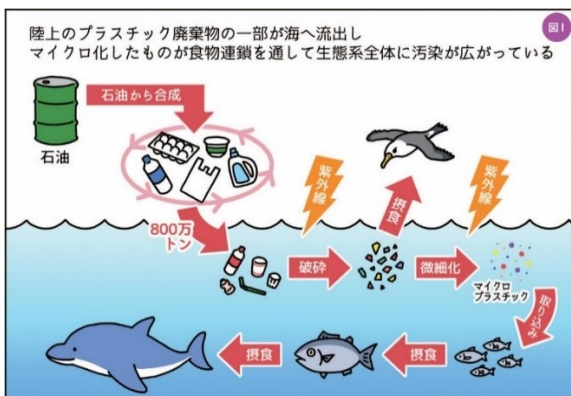
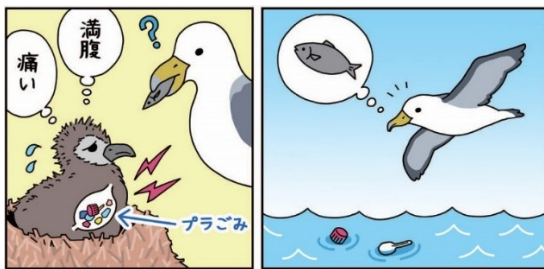
果: (果)実はいずれ形となって自然と現われてくる

応: (応)じることが遅れるほど、被害は大きくなる可能性大

報: (報)告が将来よい状態になる事(果実)を望みたい。



悪因悪果となりうる前に悪化防止してゆくことが大事。環境としての人類の問題ととらえたい。良因良果の方向に、少しでも将来の為にも!! 良化につなげるべきだ。



←このサイクルが分かりやすい。 以上